



「指笛(ファイファイ)」

愛する町のために、地域の元気のために、一生懸命活動している人がいます。このコーナーではそれを「沖縄のげんき仕掛人」と呼び、ユニークな活動を応援していきます！

高らかに響け！元気な音色



エイサーやカチャーシー、高校野球の応援に欠かせないものといえば、指笛があります。しかし、実際には指笛を吹ける人が減ってきているといえます。そこで、2005年7月10日に指笛を文化として楽しみながら普及させる目的で建国されたのが「指笛王国おきなわ」です。国王の垣花讓二さんにお話を伺いました。

指笛王国おきなわ国王 垣花讓二さん
1948年、宮古島市下地出身。公務員の傍ら、宮古民謡保存会に所属しクイチャーの伝承保存に尽力。自ら踊りながら指笛を吹く中で、指笛人口の減少を憂い、約200名の会員を束ね、指笛の普及・向上に奔走している。

げんき 沖縄の素晴らしい「指笛」を大切に継承したい。

垣花さんは復帰以前から宮古伝統芸能クイチャーの保存に力を注いでいました。踊りながら指笛を吹くことが体力的にキツイと感じるようになり、指笛を吹ける仲間を探す中で、吹ける人が意外に少ないことに驚きました。

「職場でも男性約四十名のうち、吹けるのは二、三名でしかも皆五十代以上。全国でも特に指笛が盛んな沖縄で、指笛がなくなっていくような淋しさを感しました」

その思いは、指笛を守り普及するための愛好会設立となり、新聞を通じて参加を呼びかけたところ八十名の有志が県内各地より集結！二〇〇五年七月十日、多くの賛同者と共に指笛王国おきなわを建国しました。王国は国王

げんき ウチナンチュの魂に呼びかける、指笛の音色。

「ファイファイ、ファイファイ」オカリナのような繊細な音色で、指笛の首階練習を行うのは上級者の会員です。十五名程が集まった西原町公民館での定例指笛講習会では、身体をほぐす柔軟体操に始まり、レベルに応じたパート練習が行われました。上級者の指導はイタリア帰りの現役バリトン歌手、山田健音楽大臣です。指笛をまだ吹けない初心者や初級者の会員を指導する教育大臣をはじめ、休憩時間には五歳のちびっこ会員を歓迎して、指笛でアンパンマンマーチや童謡の披露、三線との民謡セッション、オールディーズを指笛で演奏する大臣など、鮮やかなテクニク、音色の多彩さで聞く人を魅了しました。この日、一年目で初めて指笛を吹くこ



とができた会員も誕生し、みんなに感動が広がりました。

「指笛の魅力はその場を盛り上げる力があること。チムドンドンして気持ちがいいと明るくなる。ウチナンチュの魂に呼びかけてくれる音です」と垣花さん。また指笛は、人間の耳に届きやすい周波数や音のレベルを持つ特性から、王国の実験では一・三kmまで到達することができ、緊急時や遠く離れた場所への合図、連絡手段としても

げんき 指笛から広がる夢、沖縄から全国へ世界へ。

有効だと考えています。実際、教育大臣の浦崎幸夫さんは中学生の頃、台風で倒壊した家屋の下敷きになり、指笛で助けを求め、救出された貴重な体験をしていました。

毎月二回の定例講習会の他、コンサートや小学校、保育園、米軍基地内での出前講習会など、これまでの活動を振り返り、「王国の各大臣がそれぞれの得意分野で協力してくれたおかげ。特に指笛のメカニズムを解明・分析し、指導法を確立した教育大臣の力は大きい」と感慨深げな垣花さん。

今後の目標は指笛人口を県民の二割程度にまで上げることです。中国や東南アジア、世界各地に指笛があることから、沖縄で指笛サミットを開催する夢も温めています。

「豊かな文化が息づいていることが沖縄の魅力で、元気のそのもの。指笛もそのひとつだよ」

方言でファイと呼べれば親しまれる島んちゅの誇り「指笛」を守り育てること、垣花さんの周りには大きな元気の輪が広がっていました。

●指笛王国おきなわ <http://yubibueoukoku.ti-da.net/>



以下、指笛の技術向上をはかる音楽大臣や教育大臣、広報や外務などの役員から構成されています。以来、県内各地で講習会や親子教室などを開催し、七月十日を「指笛の日」に決定。吹くときの指が数字の「フ」の形で、十本の指を使えること、エイサーのある夏のイメージにふさわしいことがその理由です。現在の会員数は約三百名で宮古・八重山にも支部があり、ホームページへのアクセスもこれまでで十万件を突破するなど精力的に活動しています。



編集後記

3歳になる可愛い双子の姪っ子達。姉は共働きで子育ても苦戦中のようです。ぜひサポートセンターの会員になって、趣味のお菓子作りに精を出してもらいたい！ケーキ大好きな妹の願いです。(R)

6月から第89回全国高校野球選手権大会の沖縄県予選が始まります！今年もたくさんの熱戦を期待しています。甲子園で指笛(ファイ)の応援をしたいなあ～ (ノア)

沖縄県広報誌 平成19年6月1日発行第31巻6号通巻381号

企画・編集 沖縄県知事公室広報課
発行 沖縄県知事公室広報課
〒900-8570
那覇市泉崎1-2-2
電話 (098) 866-2020

制作・印刷
株式会社エマインタープライズ
〒900-0006
那覇市おもろまち1-5-26
電話 (098) 868-9332

